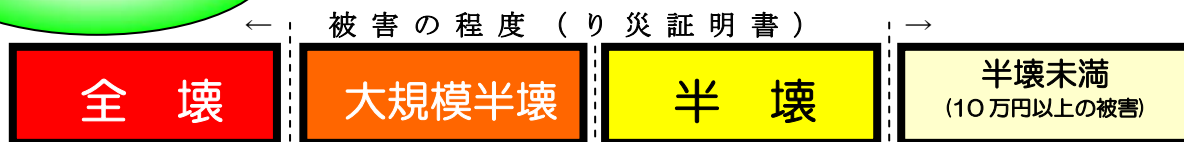


# 住まいの再建・修理を支援します

熊野市被災者住宅復興資金貸付金利息補給制度  
借入金 5 年間分の利息の 2 / 3 を補助

さらに当初 3 年間は補助額の  
上乗せ (年最大 25, 000 円) があります。

**被害程度と  
対象借入限度額**



建設・購入の借入金利息への補助が受けられます

	利息の補助対象となる借入限度額	
	耐火・準耐火等	木 造
建設・新築購入	1, 460 万円	1, 400 万円
中古購入	1, 160 万円	950 万円

補修の借入金利息への補助が受けられます

	利息の補助対象となる借入限度額	
	耐火・準耐火	木 造
補修	640 万円	590 万円

**補助の対象  
となる方は？**

① 住宅金融支援機構の「災害復興住宅融資」の貸付を受ける方。又は  
上記以外の金融機関から住宅復興資金の貸付を受ける方。

(補助を受ける融資の受付は、①②とも り災日から 2 年以内です)

①～③すべてに該当      ②市町村が発行する「り災証明書」を受けている方。

③熊野市内で自ら居住するための住宅の建設、購入、補修をする方。

**必要書類：交付申請書兼請求書・り災証明書・申出書・融資契約書・  
利息算出計算書・返済状況が確認できる通帳の写しなど**

**利息補助対象  
上限利率は？**

借入の日の住宅金融支援機構の「災害復興住宅融資」の利率。  
(H24. 1. 27 現在 全期間固定金利 **1. 57%** )

5 年間の借入金利息への補助の例

H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

← 融資の受付期間 →  
(り災日から 2 年間)

← 利息補給金の請求及び交付期間 →  
(年 1 回 毎年 4 月請求・交付 5 年間) \*初回は融資申込後の年度末までに

金融機関へ

建設課へ

**【お問い合わせ】**

熊野市役所 建設課庶務係

電話 0597-89-4111 (内線 224)

熊野市被災者住宅復興資金貸付金利子補給金交付申請書兼請求書

年 月 日

熊 野 市 長 様

申請者

住 所 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ ⑩

電話番号 \_\_\_\_\_

熊野市被災者住宅復興資金貸付金利子補給金交付要綱第7条の規定により、次のとおり申請します。

利子補給年度	年度	補助金等の名称	熊野市被災者住宅復興資金貸付金利子補給金		
事業の目的及び内容		台風12号による被災住宅の復興を支援するために、住宅の建設、購入、補修に係る費用の借入金利子の一部を補給する。			
補助事業等の効果		被災者の生活の安定			
利子補給対象借入額		円			
利子補給額(請求額)		円 ※1			
利子補給事業の対象期間		年 月 日 ~ 年 月 日			
融資対象建物の所在地		熊野市 町 番地			
申請回数		初回 2回目 3回目 4回目 5回目 6回目 ※申請回数を○で囲んでください			
添付書類		1 り災証明書の写し 2 申出書 3 金銭消費貸借契約書の写し 4 利子算出計算書(5年間又は利子補給残存期間) 5 返済状況の分かる通帳の写し 6 その他 ※初回はすべて添付してください			
振込先金融機関名		支店名			
口座番号		預金種目	当座 ・ 普通		
口座名義人		フリガナ			
担当課所見					

※1 担当課で記入します。

様式第2号(第7条関係)

## 申 出 書

年 月 日

熊野市長 様

申請者 住 所

氏 名

㊞

私は、被災者住宅復興資金貸付金利子補給金の交付を申請するにあたり、住宅の被害状況が次のとおりであることを申し出ます。(該当箇所にレ印をつけてください)

【(大規模)半壊で住宅の建設・購入資金の貸付を受ける場合】

- 修理が不能又は困難であるため現地で再建築
- 修理が不能又は困難であるため代替住宅取得(移転新築・移転購入)

【補修資金の貸付を受ける場合】

- 住宅に10万円以上の被害が生じており、利子補給対象となる借入れは当該住宅被害の補修のために必要な資金です。

被災住宅所在地							
融資対象となる建物の所在地			熊野市 _____ 町 _____ 番地 (自己所有地・借地・その他)				
工事 の 区 分	融資 対象 建物 等 の 概 要	○印で囲む 1 建設	構造	木造・準耐火・耐火・その他	階数	階	
		2 購入 新規 中古	面積	延べ _____ m <sup>2</sup> (1階 _____ m <sup>2</sup> 2階 _____ m <sup>2</sup> ) [うち、非住宅部分の面積 _____ m <sup>2</sup> ]			
		3 補修	内容	(補修の場合に記入してください)			
年月 日	着工(予定)年月日		_____ 年 _____ 月 _____ 日				
	完成予定年月日		_____ 年 _____ 月 _____ 日				

【注意】

- ・ この申出書の内容が事実と相違する場合は、利子補給金交付決定を取り消し、補助金を交付済みの場合は返還をしていただくことがあります。

利子算出計算書 (5年間又は利子補給残存期間の利子総額)

借入(申込)者 氏名 \_\_\_\_\_

(1) 資金計画の内容等

建設等にかかる総額(A)	建設・購入	万円	
	補修	万円	
資金予定	借入(予定)額(B)	万円	
	(B)のうち、 ①住宅復興資金利子補給対象額		万円
	自己資金等(C)	万円	
	合計(A) = (B) + (C)	万円	

(※ 住宅復興資金利子補給対象額①の借入限度額は次のとおりです)

区分	耐火・準耐火等	木造
住宅の建設・購入(新築)	1,460万円	1,400万円
住宅の購入(中古)	860万円	950万円
住宅の補修	640万円	590万円

(2) 借入(予定)額(B)の内容

契約日 (融資実行日)	年 月 日	初回償還日	年 月 日
利率等 (D)	%	毎月償還日	日
	1 変動( 年) 2 固定	返済期間	年(うち据置 年)
返済方法	1 元利均等	②償還回数	回
	2 元金均等		

(3) 利子補給額の利率

契約日(融資実行日)における住宅金融公庫の 災害復興住宅融資の貸付利率(E)	%
利子補給額の算出利率 ③(D)か(E)のどちらか低い利率	%

(4) 5年間の利子の総額

(変動金利の場合は契約時点の利率(ただし上限は住宅金融支援機構利率)による5年間の額)

① ② ③から算出	円
-----------	---

<金融機関の証明>

・上記のとおり相違ないことを証明します。

年 月 日

金融機関名

支店長名

印